

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	エアコン実習	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	2級シャシ TS3電装		発行日	2023年4月1日
総時限	18時限		教科担当	麻生 2年担当	●■ ●■	

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車販売会社で整備士として、エアコン点検・整備の実務経験のある教員より、作業方法、注意事項、安全な作業について指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

1. 細かく作業手順を教えなくても、自己で考えながら、分解組立を出来るようにする
2. 安全を常に考えながらの作業意識をうえつける。
3. 分解組立時の車両に対する配慮（心使い）を意識させる。
4. 専門機器の取扱いに対する、正しい使用方法と悪い使用方法を意識させる。
5. ESMを使用して実整備の流れを習得する

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

1. お客様の車両の取扱い方法を理解する。
2. ヒータ、エアコンサイクルのしくみ、構造を理解する。
3. 温度コントロールのしくみ、作動を理解する。
4. ゲージマニホールドの使用法と測定値からの良否判断ができること。
5. A/Cコントローラ、コンデンサ、クリーンフィルターの交換ができる。
6. ヒータ、エアコンの構成部品が車両の何処についており、どの様に分組するかの修得
7. エアコン点検時の専用機器を正しく取扱うことができる。
8. エアコン修理に対する安全を理解する。
9. 脱着時の部品破損しないための方法を考え、修得する。
10. 分解、組立を考えながら作業ができる（正確、迅速に作業、復元が出来る）
11. TS3、国家2級レベルの問題が解ける知識の修得。

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。

合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格

評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価

評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』

整備科60点未満、工学科70点未満…『未』（未履修）

再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』

<出題試験項目>

実技：50% 1. 専用機器の正しい取扱い(ゲージマニホールド、冷媒回収充填機等)

2. 車両での圧力点検と判断

筆記：50% \* 冷媒サイクル、部品名称・役割、冷媒回収手順など

**5. 準備学習**

2級シャシP186～203

※■⇒日産資格保持者

※●⇒実務経験がある教員

